

令和元年度 基本目標・重要業績評価指標の現状値一覧

I 圏域全体の経済成長のけん引

評価基準

- ◎: 現状値が目標値を達成している
- : 基準値に対し、上昇している
- △: 基準値に対し、横ばいである
(変動率±0.5%の範囲内)
- ×: 基準値に対し、低下している
- : 事業の実施前等により評価不能

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)
	圏域内総生産額	4兆3,161億円 (H25)	4兆7,450億円 (H29)	4兆5,300億円
	圏域内観光入込客数	18,513千人 (H27・暦年)	17,090千人 (H30・暦年)	23,000千人 (R3・暦年)

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
圏域経済データ等の活用	研修参加人数	—	55人/年	50人/年 (H30~R3)	◎	目標どおり実施できている。
地域産業創出・新商品開発促進	岡山ヘルスケア産業連携協議会の会員数	85者 (H28)	154者	155者	○	順調に増加している。
企業立地・支援	担当者会議の回数	—	方針の決定	2回/年 (R2~3)	—	—
中小企業の経営健全化・人材確保等支援	連携市町からの合同説明会への参加企業数	—	8社	8社 (R1)	◎	現在の参加連携市数等を考慮すると、目標値は適切であると考えている。引き続き、目標値を達成していくことを目指す。
	小規模企業向けセミナーの参加者数	—	23人/回	30人/回 (R1)	○	市域を越えての参加は極めて難しいことが改めて判明。R3の実施状況により事業継続の可否について判断したい。
新規需要創出・喚起促進	地域資源PRセミナー参加者数	—	426人(累計)	500人(累計)	○	H29は現地見学会のみを開催したが、H30年度以降、目標値達成に向け効果が見込まれるセミナー等の開催を検討する。
特産農産物PR	岡山市主催の地産地消マルシェ来場者数	8,000人 (H28)	10,000人	10,000人	◎	催事の工夫、恵まれた天候、事前の広報宣伝等により、目標値を超えることができた。
食品製造業見本市共同出展	商談成約件数	—	98件(累計)	980件(累計) (R2)	○	見本市出品補助の商談成果(5年平均:16件/社)を基に、目標値(20件/社)を設定しているが、出展者の中には見本市出展経験が浅い企業が多かったため、1社あたりの成約件数は平均2.5件程度になった。この結果を検証しながら、各市で実績の上昇に向けた取組を検討していく。
中小製造業海外販路開拓支援	商談成約件数	—	0件(累計)	9件(累計)	×	従来海外企業との商談成立までには一定の時間を要することに加え、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で動きが中断された状態であるため、0件となっている。成約に向けて、今後、再開の目途が立ち次第、改めて商談を行う予定。
伝統工芸品発信	協力店舗数	—	4店舗	10店舗	○	市単独で協力店舗候補のリストアップが困難であったため、今後は、おかやま観光コンベンション協会を活用した飲食店のリストアップを検討する。
圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信	圏域内観光入込客数	18,513千人 (H27・暦年)	17,090千人 (H30・暦年)	23,000千人 (R3・暦年)	×	H27はゲストイネーションキャンペーンのプレキャンペーンが開催されたことにより観光入込客数が大幅に増加した年である一方、H30は西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により観光入込客数が低下しているためと考える。今後は日本遺産を活用した周遊観光ルートの造成やサイクリングロードの活用により目標達成を目指す。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
岡山型ヘルスツーリズム拠点化	ムスリム観光客宿泊者数	859人	1,812人	4,059人(R2)	○	旅行博出展及び商談会参加による現地プロモーションにより、基準年と比較して宿泊者数は増加している。本取組は全国的にも先進的な取組として評価されており、今後も、継続的なプロモーションにより、ムスリム観光客の誘致を図る。
	観光入込客数	11,493千人(H27・暦年)	10,195千人(H30・暦年)	15,307千人(R2・暦年)	×	H27はデスティネーションキャンペーンのプレキャンペーンが開催されたことにより観光入込客数が大幅に増加した年である一方、H30は西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により観光入込客数が低下しているためと考える。目標達成に向け、ブローカーや現地旅行会社の招請ツアーの実施等やピーチマーク取得店舗の拡充による受入環境整備等の取組を継続する。
	ハラル認証及び岡山おもてなし基準を満たした店舗・施設数	5店舗(施設)	60店舗(施設)	71店舗(施設)(R2)	○	ムスリム対応の可能性がある店舗への訪問・支援により、店舗数は伸びており、今後もピーチマーク取得店舗の増加を目指し、圏域内の各店舗に継続した働きかけを行うとともに、ピーチマーク取得店舗の情報発信を行い、目標達成を図る。
アートイベントとの連携による情報発信	イベントでの情報発信回数	—	5回/年	5回/年(H30~R1)	◎	岡山芸術交流等への誘客を図る仕掛けを既存事業に盛り込むなどし、目標値を達成。

II 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)
	JR岡山駅の乗降人数	13.2万人/日	13.9万人/日	14.4万人/日

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
地域高規格道路「空港津山道路」の整備促進	要望・啓発活動等の実施実績数	1回/年(H28)	4回/年	3回/年	◎	要望活動や勉強会の開催を踏まえて目標値を設定しており、達成ができた。
中国横断自動車道岡山米子線による交流促進	交通量の推移(賀陽IC~北房JCT)	9,183台/日	9,106台/日	10,000台/日以上	×	新型コロナウイルスの影響があったと考えられる3月の日平均交通量が、対基準年比で86.8%となったことによるもの。目標値達成に向け、引き続き利用促進につながる取組を検討する。
岡山市と早島町を結ぶ国道2号等幹線道路の渋滞対策の促進	(市)藤田浦安南町線事業進捗率(事業費ベース)	36%(H28)	84%	100%	○	目標達成に向けて引き続き(市)藤田浦安南町線の整備を進めていく。
E S D実践	ESD・SDGsの理解を深める研修会参加者数	—	312人(累計)	450人(累計)	○	目標値に向かっておおむね順調に推移している。
NPO法人等の「こんなことができますリスト」等の情報発信	広域の「こんなことができますリスト」掲載団体数	—	21団体	25団体	○	岡山市ではNPO法人を対象とした説明会開催に合わせ、掲載を呼びかけている。引き続き掲載の呼びかけとともに、掲載することによるメリットを説明し、連携市町で活動するNPO法人にも掲載を依頼することにより、目標値の達成を図る。
官民協働事業の促進	官民協働事業交流会の参加者数	—	262人(累計)	240人(累計)	◎	各市町の官民協働事例や協働施策について情報交換制度の改善につながるアンケートを行った。連携市町にヒアリングを行ったうえで、連携市町で事例報告会や研修会を企画し実施する。連携市町で活動する団体や行政職員などの参加により、目標人数を達成できた。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
多様な主体による課題解決マッチング	多様な主体の協働による課題解決のための広域マッチング件数	—	1件(累計)	14件(累計)	○	ESD・市民協働推進センターが開催する課題解決ワークショップへの参加に加え、今年度から新たに連携市町へコーディネーター派遣を行うなど、マッチング件数の目標値の達成を図る。
市民活動ノウハウ移転支援	市民活動ノウハウ移転件数	—	1件(累計)	1件(累計)	◎	R1に久米南町のNPO法人にノウハウを移転し、目標を達成。今後も引き続き、随時相談受付を行っていく。
地域における協働の仕組みづくりに関する情報交換	地域協働フォーラムでの地域協働事例の発表数	—	15件(累計)	25件(累計)	○	地域協働フォーラム等での事例報告への参加を呼びかけ、学び合いを深めるなどにより、目標件数の達成を図る。

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)
	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人 (H23～27)	▲4,251人 (H28～R1)	700人 (H28～R2)

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
地域包括ケアシステム構築推進連携	連携して行う人材育成事業の実施回数	—	4回/年	6回/年 (H29～R2)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったため、目標を下回る実施回数となった。
保育園等の広域入所	入所手続きに係る来庁回数が1回以内の相談者の割合	—	100%	100% (H30～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
学校教育に関する情報共有	情報共有した特色ある取組件数	—	51件/年	50件/年 (H29～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
	担当者会議の回数	—	14回/年	10回/年 (H29～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
交流学习	交流学习の実施回数	—	3回/年	3回/年 (R1～3)	◎	目標どおり実施することができている。
「ファジアーノ岡山」、 「岡山シーガルズ」の支援	「ファジアーノ岡山」ホームゲーム平均入場者数	8,404人 (H26)	9,444人	12,000人 (R1)	○	継続事業に加え、新たな集客イベントを行う等、集客促進に努めた。チームの成績は15位から9位に上昇し、指標の上昇は、これらの複合的な効果が表れた結果と思われる。
	「岡山シーガルズ」ホームゲーム平均入場者数	3,397人 (H26)	2,261人	4,500人 (R1)	×	従来からの継続事業に取り組み、集客促進に努めた。指標については、H29年度の下位リーグへの降格が響き、基準値より低下しているが、事業の継続的な実施とチームの成績上昇により、上位リーグ昇格後は2年連続で上昇している。連携市町で連携できる事業やイベントコンテンツについて、他に考えられることを今後も検討する。
大規模なスポーツ大会等の受入体制の整備	中国地区以上の規模のスポーツ大会の誘致件数	—	3件(累計)	2件(累計)	◎	目標どおり実施することができている。
有害鳥獣対策研究	担当者会議の回数	—	3回/年	2回以上/年 (H30～R3)	◎	目標どおり実施することができている。
河川の水質改善と環境保全推進	連携して行う自然体験行事等の実施回数	—	6回/年	10回/年	○	予定どおりに推移している。

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	現状値(R1)	目標値(R3)	傾向	評価(状況認識・要因分析等)
ごみ焼却処理相互支援	ごみ処理受入率	100% (H28)	未実施	100% (H29～R3)	—	安定的にごみの焼却処理を行うため、現状の目標値を継続して達成していくことを目指す。
広域ごみ処理施設整備	施設稼働	—	—	施設稼働 (R8)	—	—
御津・建部地域と久米南町を結ぶ地域間路線の再構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
灘崎地域と玉野市を結ぶ地域間路線の構築	ブentakの利用者数	763人 (H30)	方針の決定	840人	—	—
岡山市内鉄道駅と赤磐市を結ぶ地域間路線の構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
J Rの利用促進と駅機能強化	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
岡山市と吉備中央町のバス路線の再構築	本格運行移行	—	試行中	本格運行移行	—	—
西大寺地域と瀬戸内市のバス路線の再構築	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
岡山空港から宇野港までの直通バスの導入	方針の決定	—	—	方針の決定	—	—
移住促進連携	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人(累計) (H23～27)	▲4,251人(累計) (H28～R1)	700人(累計) (H28～R2)	×	東日本大震災の影響で転入超過となった時期もあったが、次第にその動きが弱まっていることが最大の要因と考えられる。各市町と協議を十分に行い、移住・定住の促進に効果的な事業を検討する。
	「GYOSANおかやま」ページビュー(PV)数	1,013PV/月 (H29)	713PV/月	1,200PV/月	×	上記に同じ
公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築	圏域内施設状況の把握	—	公表	公表 (R1)	◎	子どもパスポートを圏域内の小学校に在籍する児童に配布するとともに、圏域内のスポーツ施設について状況を把握し共有した。
公共施設の相互利用の仕組み構築	相互利用促進事業数	—	方針の決定	3事業(累計)	—	—
図書館相互利用	住民一人あたりの年間貸出冊数	5.9冊	6.1冊	6.0冊	◎	新規開館した図書館や図書館数が増加した自治体があったために、数値が伸びたと推測される。
子どもパスポート	パスポート掲載施設の利用者数(利用者数を把握していない2施設を除く)	1,985,063人/年 (H29)	1,970,904人/年	2,183,000人/年	×	新型コロナウイルスの感染拡大の影響によって、観光客をはじめとする人の動きが停滞したことによるものと推察される。新型コロナウイルス感染症に留意した施設への利用促進につながる取組を今後も検討する。
人事交流・育成	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	—	6回/年	5回/年 (H29～R3)	◎	人材育成に資する内容の研修を選定し、呼びかけを行った結果、うち5回の研修において圏域内市町からの参加があった。